

プレスリリース
報道関係者各位

2019年6月11日
株式会社シーフードレガシー

シーフードチャンピオンアワード2019 チャンピオンに選ばれました！ 持続可能な水産業を日本でも！ムーブメントの立役者



この度、株式会社シーフードレガシーの代表取締役社長、花岡和佳男が、シーフードチャンピオンアワード（Seafood Champion Award）2019の「リーダーシップ」部門のチャンピオンとなりました。

本アワードはサステナブル・シーフードに関する世界最大級の国際会議、シーウェブ・シーフードサミット（SeaWeb Seafood Summit）を主催するSeaWebが運営しているもので、世界の水産業や海洋に関する課題解決に貢献した人に送られます。「リーダーシップ」、「イノベーション」、「ビジョン」、「アドボカシー（政策提言）」の4部門で構成され、過去には、サステナブル・シーフード・アンバサダーとして北米を舞台に活躍する元フォー・シーズンズ・ホテル・バンクーバーのエグゼクティブシェフNed Bell氏や、インドネシアで違法漁船の撲滅に取り組むSusi Pudjiastuti インドネシア共和国海洋水産大臣などがチャンピオンを受賞しています。

今年のアワードは、「リーダーシップ」部門では花岡以外に、

- ・ Hannah Macintyre 氏
英大手小売企業Marks & Spencerで持続可能な水産物の調達方針を戦略的に策定
- ・ Susan Jackson 氏
持続可能なマグロの生産をビジネス、政治、科学、環境の面から進めるInternational Seafood Sustainability Foundationの発展に寄与
- ・ Global Ghost Gear Initiative
世界中で流失・投棄されている漁具の問題に取り組む、世界動物保護協会のプロジェクトが候補となっていました。

日本のビジネスに適した形で国内企業を主体としたイニシアチブを形成したこと、持続可能な水産業の実現に取り組む国際組織と日本のステークホルダーの架け橋となっていること、漁業法改正に象徴されるポリシーシフトに貢献していることがチャンピオンになった決め手となりました。



代表取締役社長：花岡和佳男からのコメント

「今年のシーフード・チャンピオンに選ばれたことを大変光栄に思います。これは私だけではなく、持続可能な水産業の実現を目指す日本のステークホルダー全員へ送られた賞です。私が現在のキャリアを始めた15年前を振り返ると、当時日本の水産業界はほぼサステナビリティに対して関心がありませんでした。しかしシーフードレガシーを設立した2015年からこの4年間に状況は大きく変化し、各企業がNGOや専門機関と連携しそれぞれのアプローチで取り組みを強化するようになりました。また70年ぶりに漁業法が改正されたことも極めて大きな一歩となりました。持続する豊かな海と人とのつながりの実現を目指し、これからも一層精進して参ります。」

■アワードの詳細はこちら（英語のみ）

<https://www.seafoodsummit.org/2019-seafood-champion-awards-finalists-announced/>

■本件に関するお問い合わせ

株式会社シーフードレガシー（担当：山岡）

miki.yamaoka@seafoodlegacy.com または 03-6884-6496

■株式会社シーフードレガシー（www.seafoodlegacy.com）

シーフードレガシーは、海と人をつなぐ象徴である水産物（シーフード）を、豊かな状態で未来世代に継いでいきたい（レガシー）という想いのもと、社会・経済・環境におけるサステナビリティの実現のため、国内外の水産関連企業やNGOをサポートし、両者を戦略的にネットワークし、日本のビジネスに適した解決策を形にする、コンサルティング/プラットフォーム組織です。